

神経内科後期研修

研修目標

日本神経学会教育プログラムに準拠し、日本神経学会認定専門医の資格取得をひとつの目標にしています。神経疾患の診察法、診断、治療について学び、臨床神経学の理解を深めながら、卒後7年目には日本神経学会専門医試験に合格できる実力を身につけることを目指します。そのために、病歴聴取の方法、神経学的所見の取り方、局在診断、鑑別診断について学び、段階的に実力を深めていっていただきます。神経学的補助検査（生理検査、画像、高次機能、神経筋生検）のどれもトップクラスのエキスパートの指導を受けながら自身の手で所見をとり、自分の頭で病態を考えることができるようになることが目標です。

研修内容

当院での後期研修を含んだ神経内科専門医取得までの流れ

卒後年数	研修内容	
1年目	初期臨床研修(当院または他院)	
2年目		
3年目	後期研修(他院)	後期研修(当院)
4年目	後期研修(当院)	後期研修(他院)
5年目		後期研修(当院)
6年目	神経内科専門医取得	
7年目		

後期研修3年のうち、少なくとも2年を当院での研修に充てるのが原則です。期間中、脳卒中臨床の研修を1~2年、連携病院で行えるようにします。

後期研修医週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	病棟業務など	病棟業務 嚥下造影検査 など	神経内科専門 書輪読会 病棟業務 筋電図検査など	病棟業務 嚥下造影検査 など	病棟業務 筋電図検査など
午後	特殊外来 (すくみ足、もの 忘れ、SAS)	筋ジストロフィー 外来	電気生理検討 会(月一回) 病棟カンファ レンス、回診	筋ジストロフィー 外来 自律神経機能 検査など	病棟業務、外来 診察など
夕方	抄読会 CPC、症例検討 会など	病理検討会 (月一回)	神経画像検討 会(月一回)		

【特殊外来】

月曜午後にすくみ足外来、物忘れ外来、睡眠外来などが行われています。興味のある特殊外来について専門性を深めたり、診察・検査を担当したりすることができます。

【抄読会、CPC、症例検討会】

月曜夕方には神経内科 Dr が集まって文献を紹介する抄読会を行っています。
また病院全体で CPC、症例検討会を定期的に開催しています。

【筋ジストロフィー外来】

当院は大阪府内唯一の筋ジストロフィー専門病院として多くの患者さんが通院されており、一般病院の神経内科では経験できない疾患も多数経験できます。毎週火曜、木曜の午後は神経内科医師全員で筋ジストロフィー患者さんの外来診察をします。

【病理検討会】

月一回、神経・筋生検や病理解剖された症例の病理画像について検討します。当院では年間 15 例程度の神経筋難病患者の病理解剖を行っており、また他院からの依頼をうけて神経・筋生検を行うなど神経病理のトレーニングに十分な体制が整っています。

【神経内科専門書輪読会】

毎週水曜朝に若手医師による臨床神経学の成書（洋書）輪読会をしています。

【脳波、筋電図検査、神経生理検討会】

毎週水曜と金曜に筋電図検査および脳波判読の時間枠があり、レジデントは経験豊富な上級医とペアで担当します。日本臨床神経生理学会認定医（脳波・筋電図分野）が在籍しており、質の高いスキルを修得できます。また月一回、外部よりエキスパートを招いて筋電図のトレーニング、診断が難しい症例のコンサルトなど神経生理検討会を実施しています。

【神経画像検討会】

月一回、外部より、神経放射線科のエキスパートを招いて症例検討会を実施しています。

【病棟カンファレンス、回診】

当院は一般神経内科病棟 96 床、筋ジストロフィー病棟 80 床があり、主に一般神経内科病棟に検査・治療目的で新しく入院した患者さんの症例検討、病棟回診を毎週水曜に行っています。診断・治療困難症例については随時症例検討会を実施しています。

見学は随時受け入れいたします。直接藤村晴俊臨床研究部長 [hfujim@hosp.go.jp](mailto:hfuji@hosp.go.jp) までご連絡ください。